

日本の会社を元気にする一番の力へ。



No.1

株式会社アレクソンの 連結子会社化に関する資料

2020年5月26日

INDEX

1 | M&Aの概要

2 | M&Aの目的





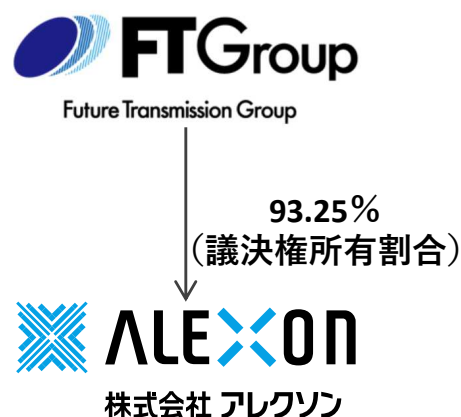
M&Aの概要

完全子会社化の概要

株式取得について

2020年5月26日の当社取締役会において、株式会社エフティグループの子会社である株式会社アレクソンの発行済株式の100%を取得し（株式交換を用いた少数株主からの取得を含む）、株式会社アレクソンを当社の完全子会社とすることを決議。

本株式取得前



本株式取得後



本株式交換後



エフティグループの概要

所在地	東京都中央区日本橋蛸殻町2-13-6
従業員数	連結1208名（2019年3月31日現在）
事業内容	情報通信サービス、環境省エネルギーサービス、小売電力サービス
売上高	458.87億円（2020年3月期）

日程

①取締役会決議日	2020年5月26日
②株式譲渡契約締結日 株式交換契約締結日	2020年5月26日
③株式取得日	2020年7月31日（予定）
④本株式交換の効力発生日	2020年9月1日（予定）

M&Aで目指すこと

経営ビジョン

皆様の
No.1 ビジネスパートナー

セキュリティ&ソリューション。

最先端の情報活用で企業成長を支援。

情報セキュリティ分野の強化により
経営ビジョンの実現を加速



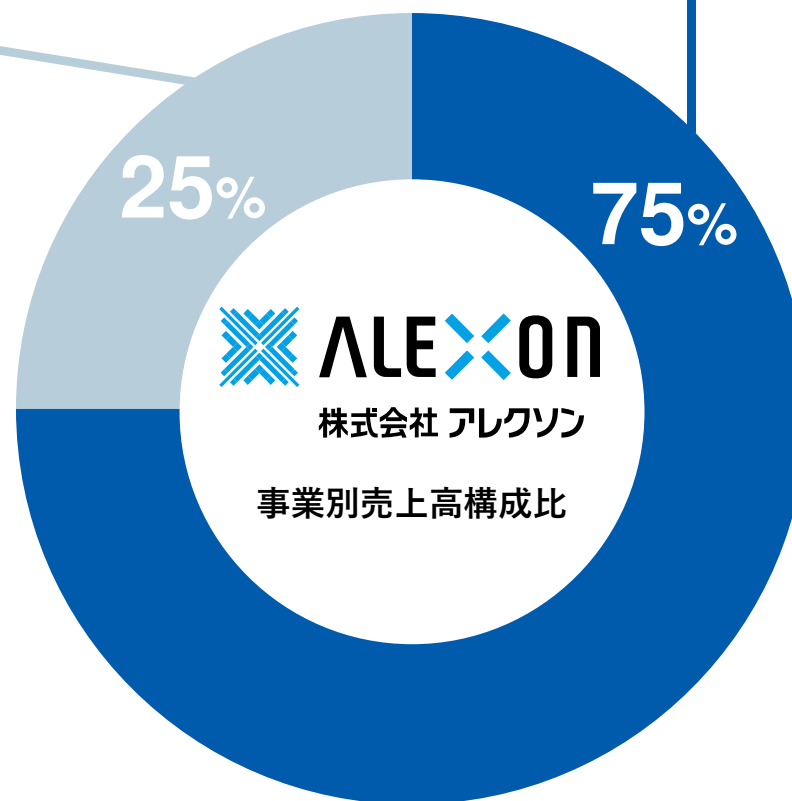
アレクソン – 会社概要

会社名	株式会社アレクソン（英語表記：Alexon Co., Ltd.）
拠点	本社 大阪府大阪市中央区安土町 伊丹工場 兵庫県伊丹市 東京支社 東京都中央区日本橋人形町 福岡営業所 福岡県福岡市西区
設立	1971年5月18日
資本金	90百万円
代表	代表取締役社長 三瀬 厚（みせ あつし）
社員数	60名
株主	(株) エフティグループ他
事業内容	情報通信機器の企画開発・製造・販売及びOEM/ODM供給 <ul style="list-style-type: none"> ● 有線放送向けのチューナー等放送機器 ● ISDNターミナルアダプタ、システム向け高信頼特殊ターミナルアダプタ ● IPネットワーク、VoIPゲートウェイ、IPビジネスホン、ルータ関連機器 ● セキュリティ、ネットワーク関連機器 ● 防犯・防災関連機器 環境医療機器の企画・製造・販売
ISO	ISO14001

アレクソン - 事業概要

受託開発事業

- 有線放送向けのチューナー等放送機器の開発・生産
- 設計・開発・量産等の受託
電子回路、プリント基板、組込マイコン、筐体、Webシステム、アプリ（スマホ・タブレット）、あっぱくん



ネットワーク事業

ネットワーク・情報セキュリティ機器とソフトの開発・キitting・販売（卸売）



UTM



セキュリティスイッチ

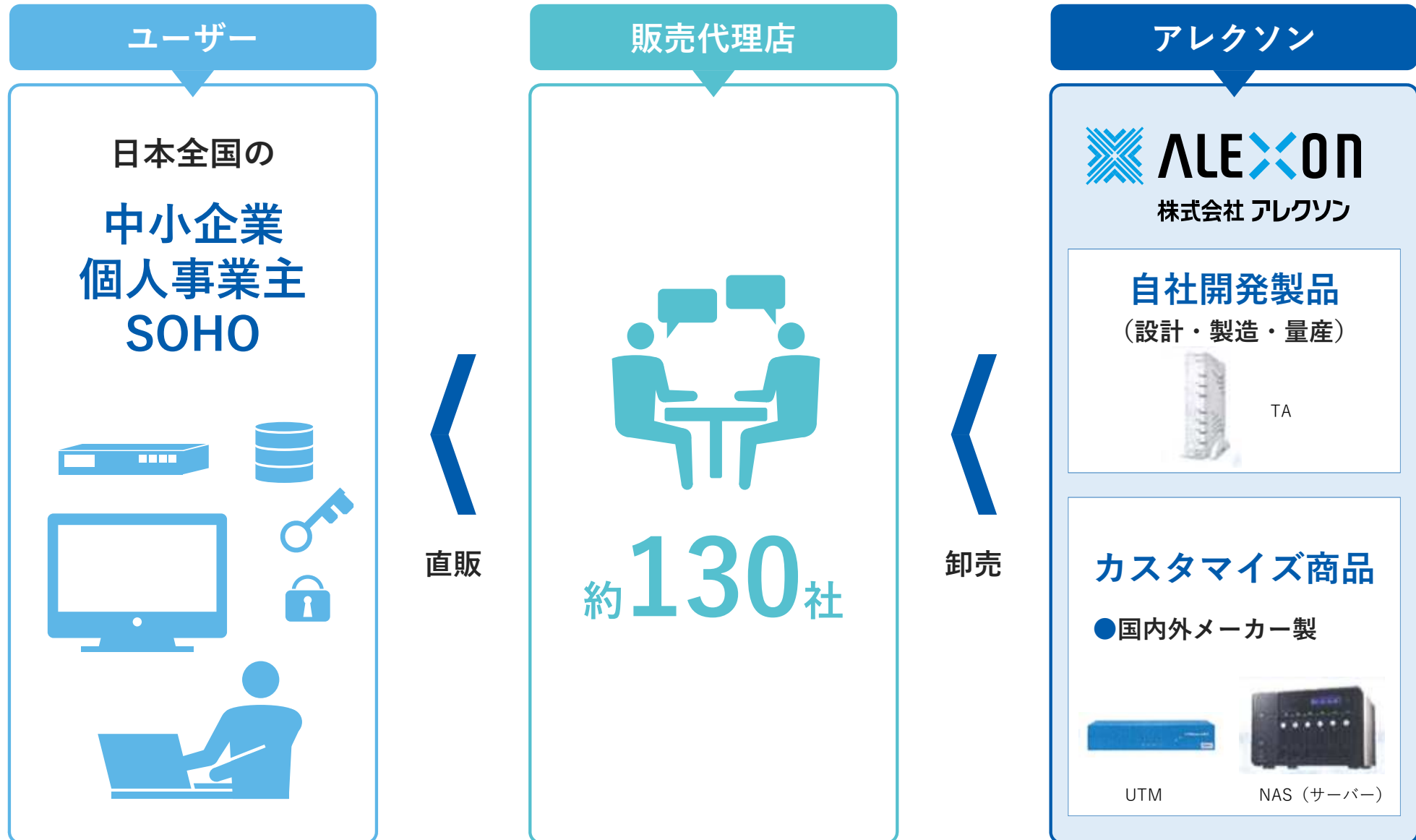


NAS
(サーバー)



サーバーラック

アレクソンネットワーク事業のビジネスモデル



アレクソンーネットワーク事業の主力商材

情報セキュリティ

UTM (統合脅威管理)

- ウィルスメールをブロック
- フィッシングサイトを自動判別してアクセス禁止
- キーワードによるWEBサイト閲覧制限



LAN不正接続 ブロッカー

- LANへ不正接続を監視
- USBメモリからのウィルス侵入をブロック
- IT資産管理機能 (PCのハード及びソフト情報を定期的に走査)



セキュリティ スイッチ

- ウィルス感染・ハッキングを検知し通信を遮断
- レポートによるネットワークの可視化
- 悪性トラフィックだけを検知・遮断



ネットワーク機器

NAS (サーバー)

- データの保管・バックアップ
- 社外からのアクセス
- アクセスログの保存



サーバーラック

- 機器、配線をスッキリ収納
- UPS、リブータを標準装備



商品ラインアップの
強化ポイント

No.1とアレクソンの特徴



<ul style="list-style-type: none"> ● OA関連商品や情報セキュリティ機器の販売、オフィス通販 ● 経営支援サービス ● システムサポート 	<p>商品・サービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワークセキュリティ関連機器の企画、開発 ● 有線放送向けのチューナー等放送機器の開発・生産 ● 受託開発
<p>小規模事業者を中心に1万4405社</p>	<p>顧客基盤</p>	<p>大手はじめ販売代理店130社</p>
<p>課題解決を起点にした営業力</p>	<p>強み</p>	<p>ネットワークセキュリティ関連機器の企画・開発力</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 課題解決型のソリューション営業の推進 ● 情報セキュリティ分野の強化 ● 自社企画商品の拡充 	<p>事業戦略</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 継続的でタイムリーかつ低コストでの商材開発 ● 販売代理店網の強化

財務数値



2020年2月期（実績）

売上高	88億18百万円
-----	----------

営業利益	3億61百万円
------	---------

営業利益率	4.1%
-------	------

経常利益	3億83百万円
------	---------

従業員数	486名
------	------



2020年3月期（実績）

売上高	28億9百万円
-----	---------

営業利益	3億32百万円
------	---------

営業利益率	10.8%
-------	-------

経常利益	3億31百万円
------	---------

従業員数	60名
------	-----



M&Aの目的

M&Aの目的

1

需要拡大が見込める情報セキュリティ商材の拡充

2

メーカー機能の取り込みを通じたマーケットイン型商材の強化

3

売上拡大と収益力強化の両立

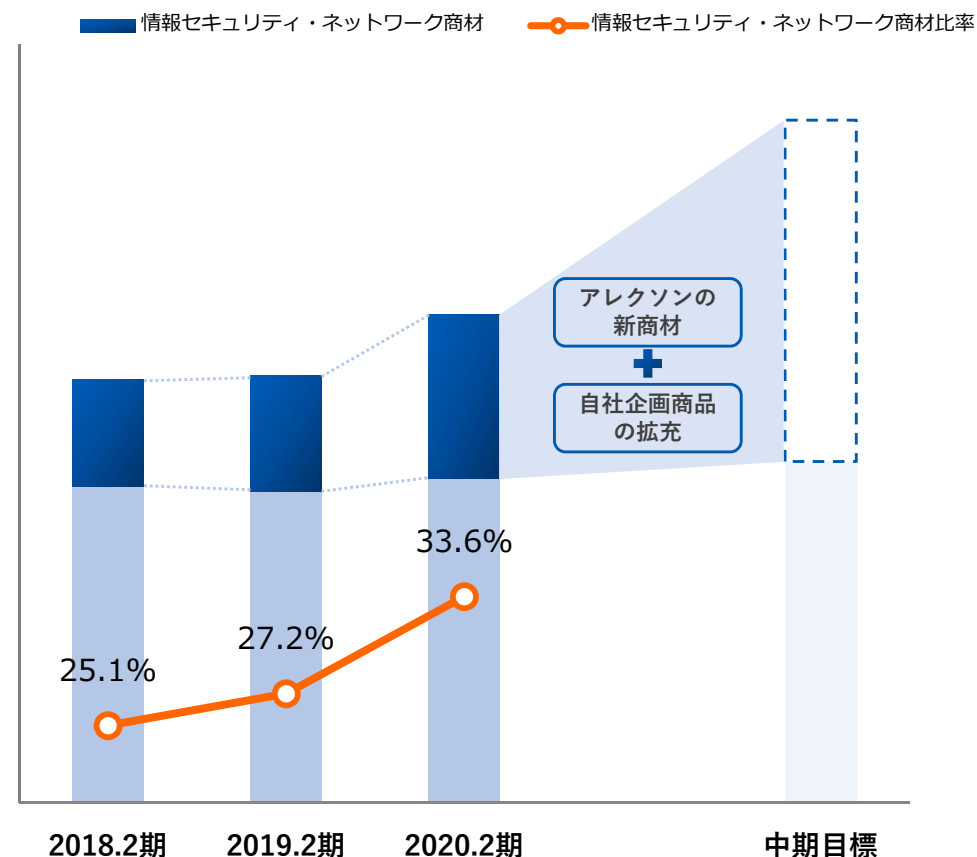
中期的な成長戦略を大きく前進
主要KPIへの好影響を見込む

KPI

複合販売比率

1社当たり
平均売上高

No.1の主要商材に占める 情報セキュリティ・ネットワーク商材の 売上高推移と目標



※主要商材とはUTM、ファイルサーバー、ホームページ制作、MFP、ビジネスホン、防犯セキュリティ。このうちUTMとファイルサーバーを「情報セキュリティ・ネットワーク商材」と位置付け。M&A後の2021.2期以降は、ここにセキュリティスイッチやサーバーラックなどアレクソンの新商材が加わる予定。

成長戦略の方向性

1

既存顧客、新規顧客に対して新商材（セキュリティスイッチ、サーバーラックなど）を複合販売



2

タイムリーかつニーズを捉えた自社企画商品の企画・開発

3

クラウド分野やSaaS分野の新展開



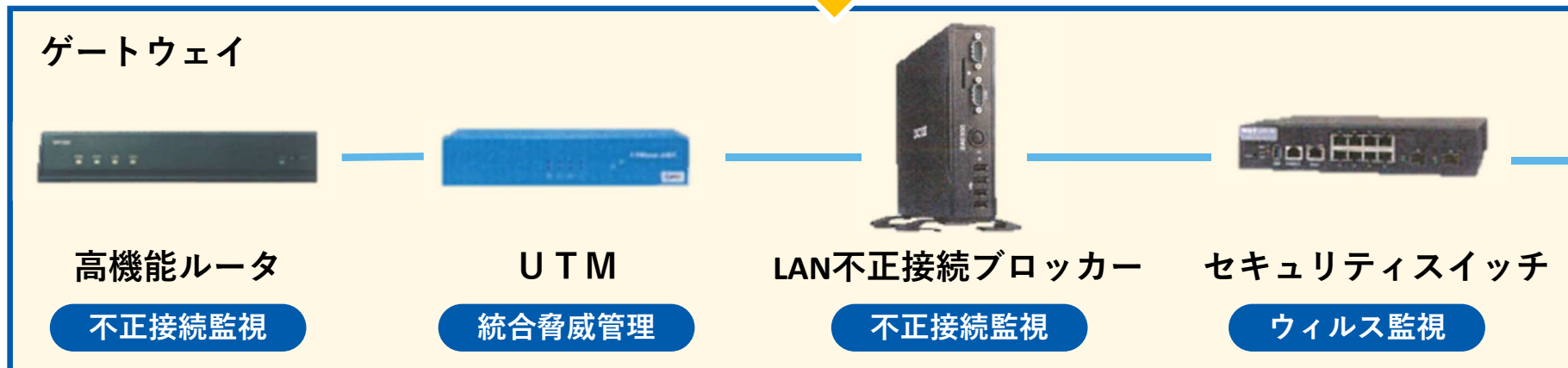
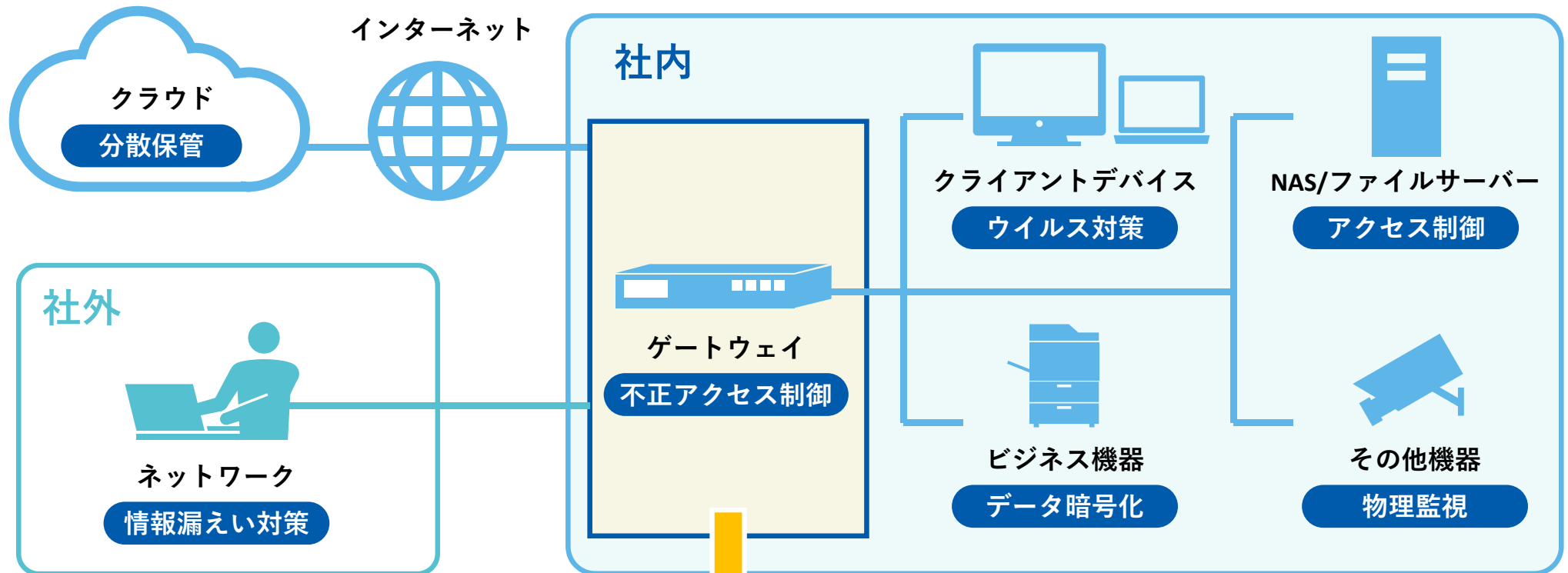
Cloud Computing

4

主力商材の開発、生産、仕入の体制の見直し・強化による収益力強化



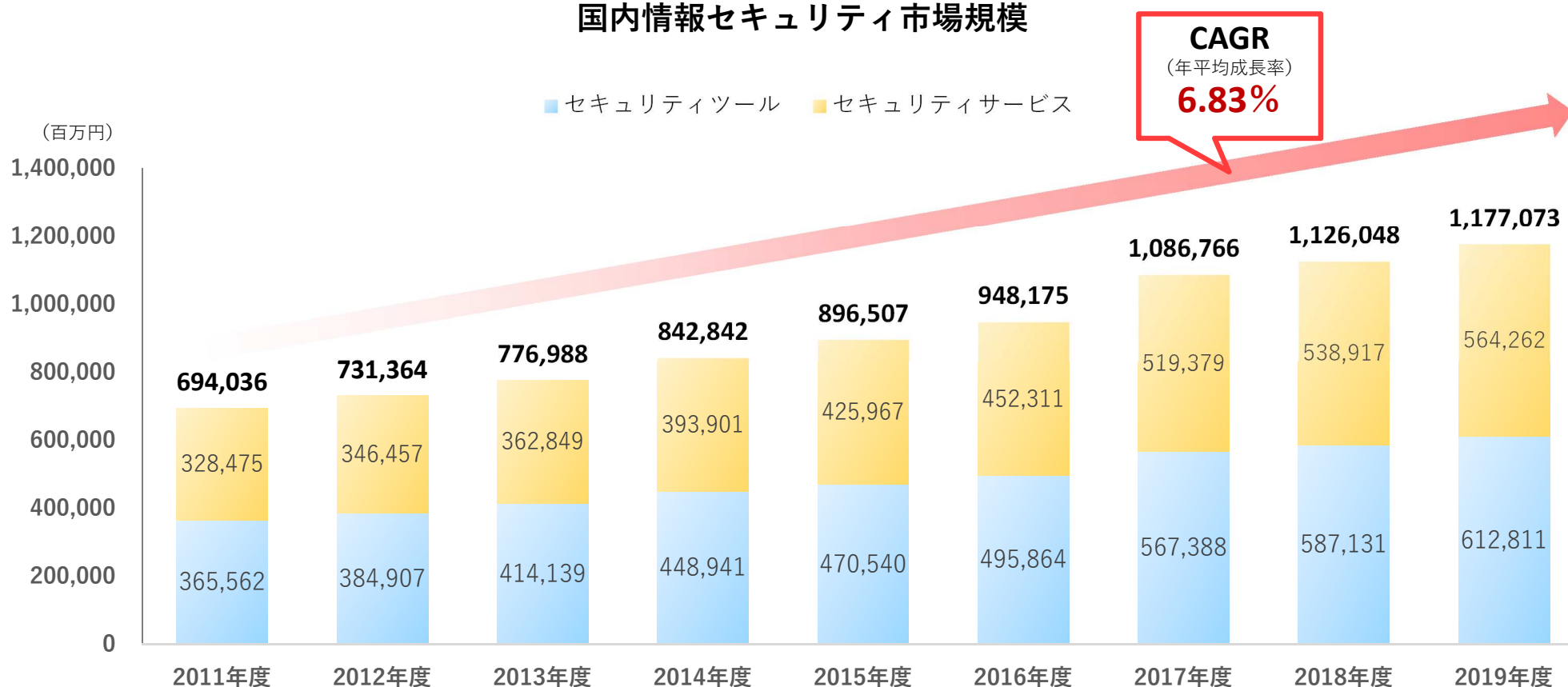
情報セキュリティとは



成長続く情報セキュリティ市場

- サイバー攻撃の増加や攻撃の巧妙化・複雑化、保護すべきデータの増大などを背景に、企業のセキュリティツール、セキュリティサービスに対する需要は長期的に拡大。
- 今後はIT環境のクラウドシフト化に伴い、クラウド環境へのセキュリティシステム構築や運用管理サービスの需要が見込まれ、市場拡大が続く見通し。

国内情報セキュリティ市場規模



※2011～2017年度は推定実績値、2018年度は推定見込値、2019年度は予測値
参考：日本ネットワークセキュリティ協会「国内情報セキュリティ市場調査報告」のデータをもとに作成

小規模事業者のセキュリティ課題



小規模事業者が抱える セキュリティの課題 ※

テレワーク導入に関する
情報セキュリティの確保

テレワークの導入、運用に
コストがかかる

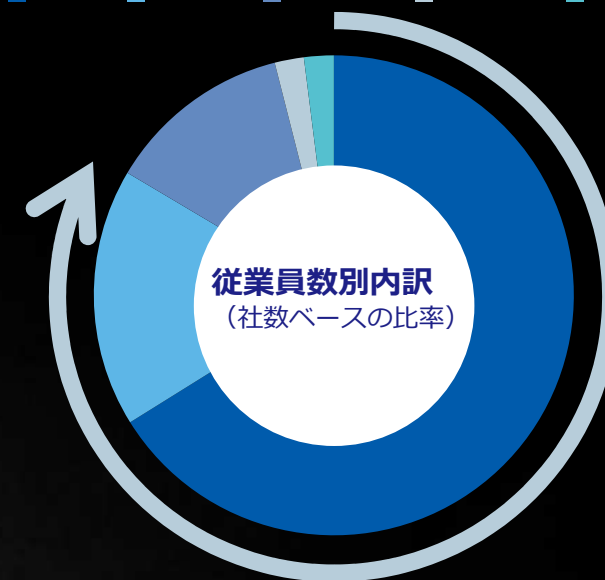
個人情報(従業員・顧客)、
自社・取引先の機密情報の
流出・漏えい

システムへの不正アクセス、
乗っ取り、情報収集の起点化

※中小企業白書より

No.1の顧客構成

■ 0~5人 ■ 6~10人 ■ 11~30人 ■ 31~50人 ■ 51人~



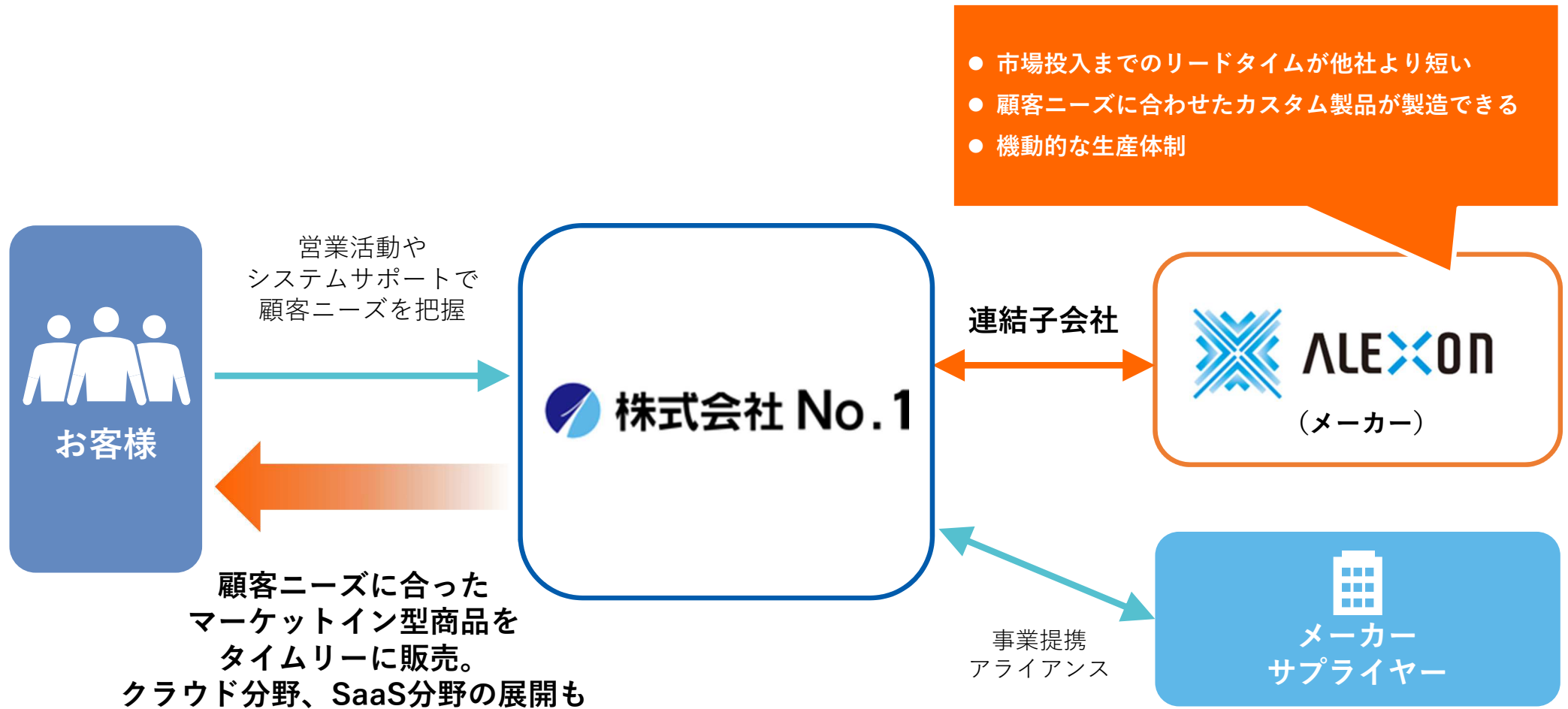
アクティブユーザー ※

1万4405社 (2020年2月末現在) のうち

8割超が10人以下の小規模企業。

※現在取引継続中の既存顧客

マーケットイン型商材の強化



クラウドの新展開 – テレワークの課題

テレワーク導入における企業の課題

マルウェア
対策の
脆弱化

不正アクセス
の危険性

情報
セキュリティ上の
懸念

重要情報の
盗聴

テレワーク端
末や記録媒体
の紛失・盗難

導入までに
掛かる時間と
費用

人材、費用、
体制の懸念

テレワークの
システム管理
のための人材
確保

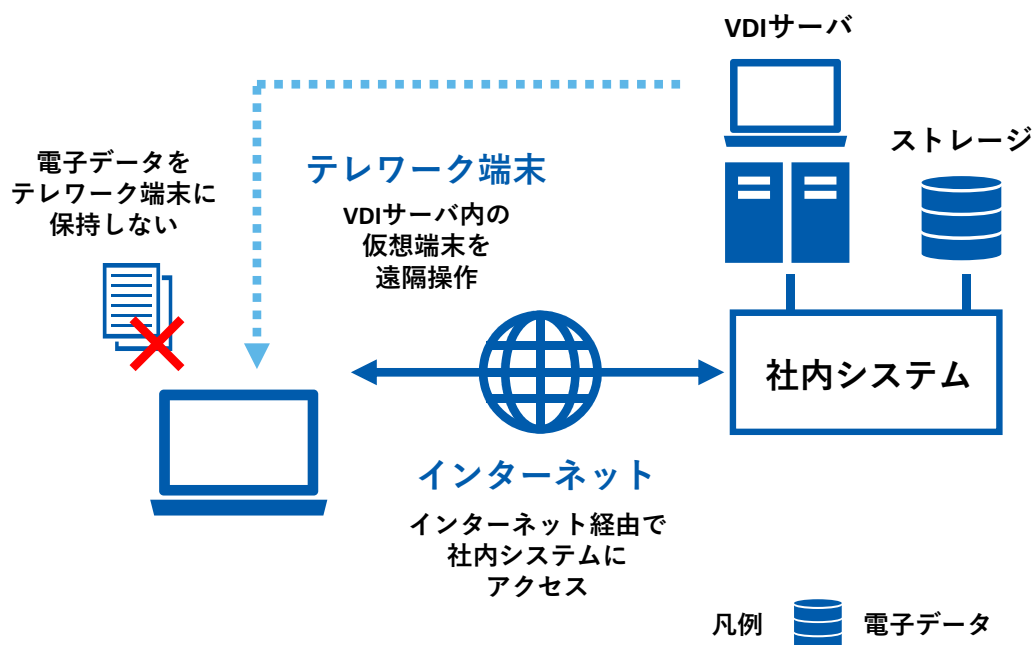
クラウドの新展開 – テレワーク商材の方向性

- 端末やVPN接続を導入せず、多額のコストや時間を掛けずにテレワークを開始できる新商材の提供へ

仮想デスクトップ方式

特徴

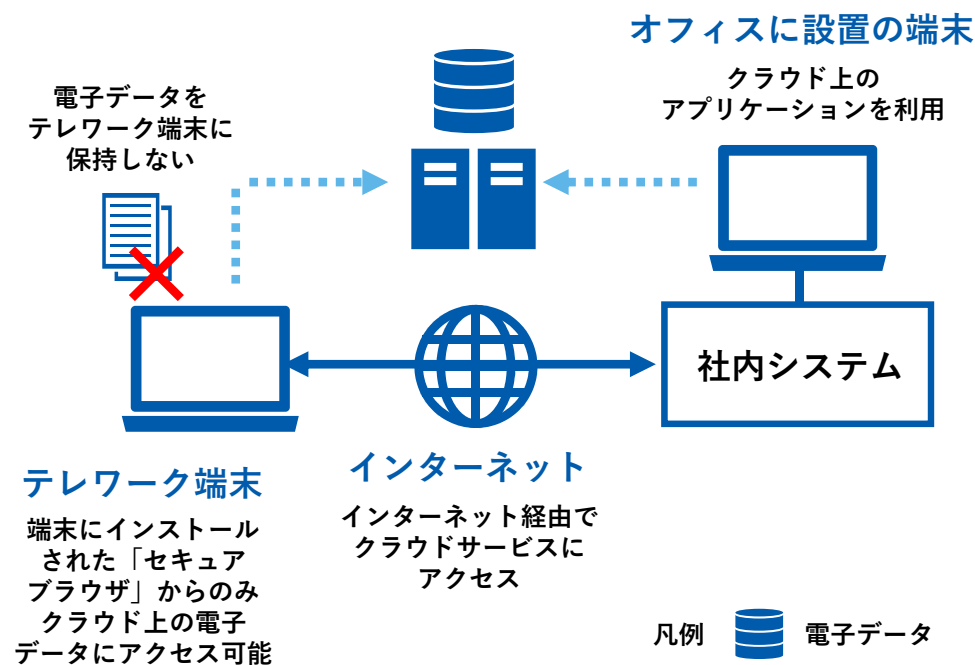
- オフィス端末を用意する必要がない
- 均一的なセキュリティ対策が可能



セキュアブラウザ方式

特徴

- 特別なインターネットブラウザを用い、ファイルのダウンロードなどの使用機能を制限。電子データを保存しないようにすることが可能

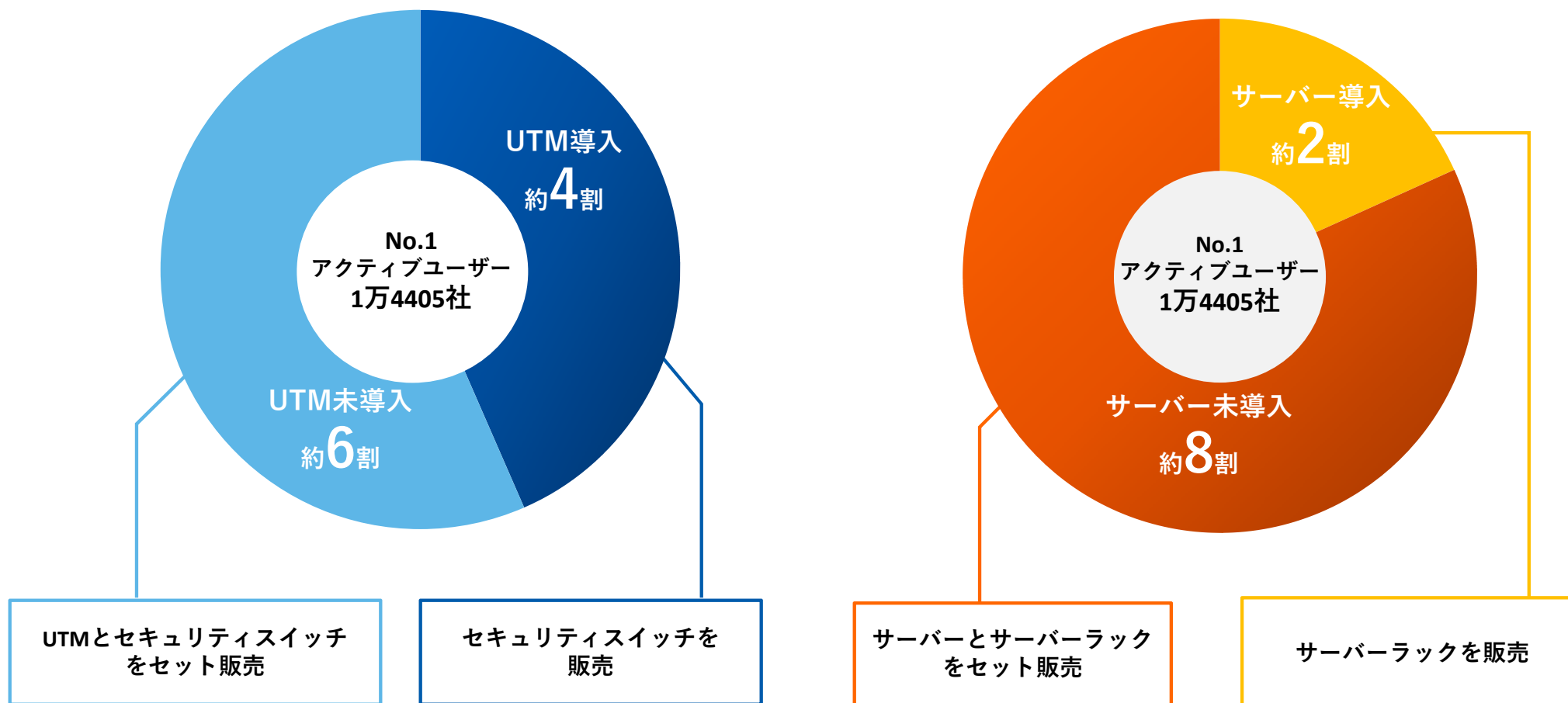


参考：総務省「テレワークセキュリティガイドライン」第4版

売上拡大と収益力強化の両立

- 親和性の高い商材同士をセット提案。新規需要を取り込む
- コスト競争力のあるアレクソン社製品の販売強化により収益力を向上

UTM、ファイルサーバーの導入状況



日本の会社を元気にする一番の力へ。

 **株式会社 No.1**

